



LIXIL

防火戸 FIX窓(内押縁タイプ)

取付け説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲注意…取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 指定のガラス・後付けビードをご使用ください。指定のガラス・後付けビードを使用しない場合、所定の防火性能を満たしません。
- 本製品は、複層ガラスを使用するため、製品重量が最大70kgとなります。枠の垂れ下がり・ガラス落下のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・必ず指定のねじで枠を固定してください。
 - ・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
 - ・開口部を付け枠などでふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
 - ・ガラス保持金具(室内)取付け後、ガラス保持金具(室内)下端と下枠カバー下面の距離が15~18mmになっていること、ガラス保持金具(室内)が室内側に外れないことを確認してください。外れてしまう状態では取付けが不完全なため、所定の防火性能を満たしません。
 - ・ガラス保持金具(室内)の取付けの際に段付ねじをゆるめる場合は、半回転以上ゆるめないでください。ねじのかけがりが不十分な場合、所定の防火性能を満たしません。
- 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
 - ・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
 - ・浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット(別売り)を使用してください。

●お願い

- ガラス建込み時に室内側から見て防火ラベルがガラスの右上にくるように配置してください。

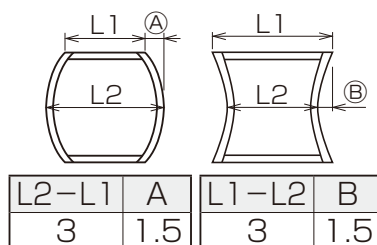
※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	後付けビードのコーナー部には切れ目を入れて押込みましたか?	<input type="checkbox"/>
2	後付けビードは余長を持たせて取付けましたか? (目安 1000mmあたり30mm)	<input type="checkbox"/>

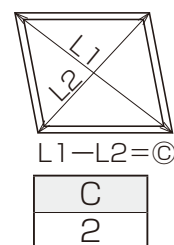
■取付け上のお願い

- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
- 枠取付けねじの取付けには、インパクトドライバーは使用しないでください。
- 電動ドライバーを使用の際は、締付けトルク1.5~2.0N・m {15~20kgf・cm}にて取付けを行ってください。
- 節などの硬い部分や、硬い木(ヒノキ・米松など)の場合は、φ2.5mm以下のドリルで下穴をあけてから、取付けを行ってください。
- 躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

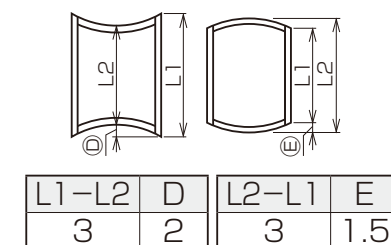
■サッシ枠のフレ・ツズミ



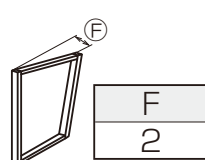
■サッシ枠対角差



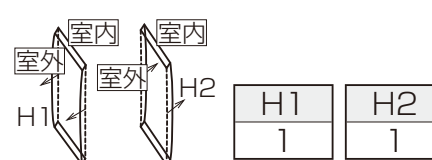
■サッシ上下枠の内ソリ・外ソリ



■サッシ枠のねじれ



■サッシ枠の室内外のソリ



- テラス納まりの場合、床のフロアラインは必ず土台(下枠取付け位置)から37.5±1mmにしてください。(204単純段差の場合は27.5mm)アングルと床にすき間ができたり、アングルが取付かないおそれがあります。

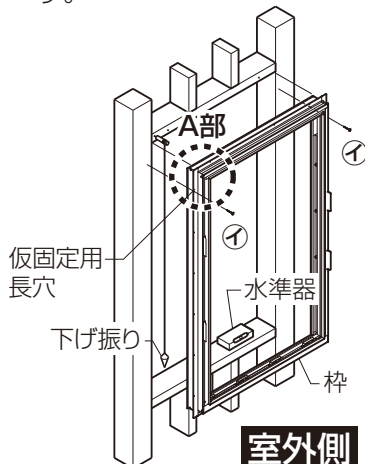
■取付けねじ・押縁・部品一覧表

①~④	⑤	⑥	押 縁	
枠取付けねじ (低頭ねじ) φ 3.1×25	丸木ねじ φ 3.5×25	ガラス保持金具 (室内)	上用 / 1本	縦用 / 2本

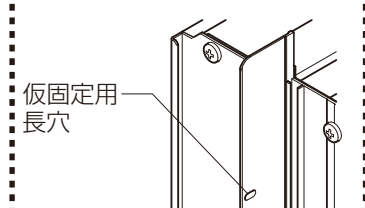
■取付け順序

1 枠の仮止め

- 開口部の水平・垂直を確認し、縦枠上部の仮固定用長穴の中央に①枠取付けねじで枠を仮止めします。



■A部詳細図



2 枠の調整と固定

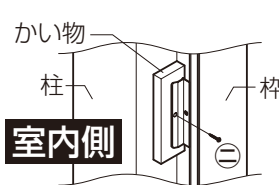
- 下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、縦枠下部ねじ②を固定します。枠の対角差を調整後、その他のねじ③、④を固定します。
- ※柱と縦枠および上下枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、かい物部に木ねじで適切なトルクにて締付けてください。枠がこぼれ樹脂のはずれや開閉不良など不具合が発生することがあります。

▲注意

- 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
 - ・本製品取付け後、枠と躯体の取合わせ部に下記①~③に従って、防水テープ(別売り)を張ってください。
 - ①コーキングシーラーに5mm以上重ねる。
 - ②根元からすき間を空ける。
 - ③ピンホールを生じさせないように必ず圧着する。

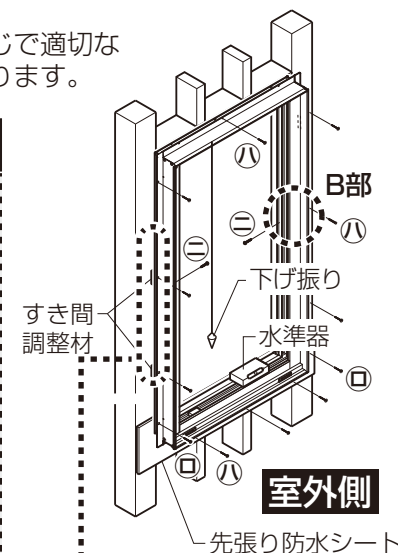
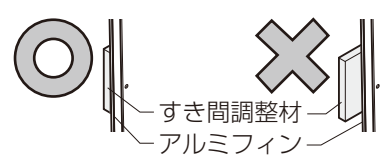
■B部詳細図

- ※枠と縦枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじを適切なトルクにて締付けてください。



●お願い

- ※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。



3 ガラスの建込み

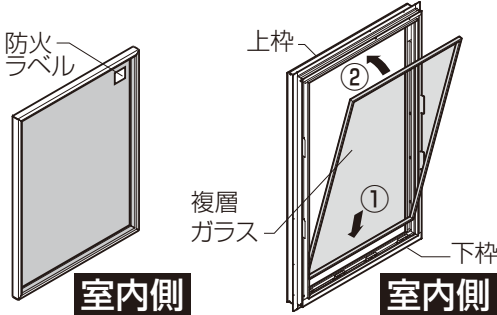
- 下枠→上枠の順にガラスを室内側からはめ込みます。
- ※ ガラスは、防火認定ラベルが内観右上になるようにはめ込んでください。

▲ 注意

- 複層ガラスは必ず指定のものを使用してください。枠の垂れ下がり・ガラス落下のおそれがあります。

● お願い

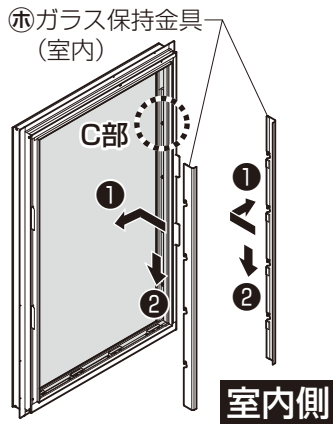
- ※ 室内側から見て防火ラベルが右上にくるように配置してください。



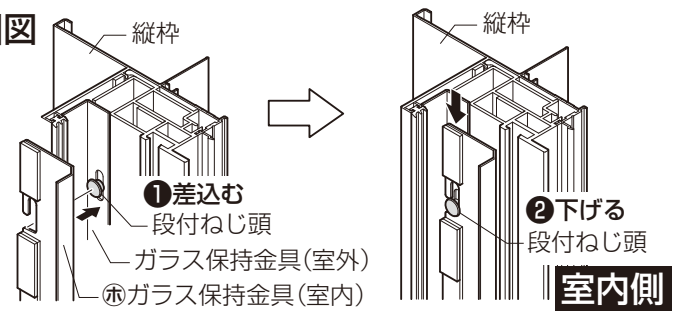
4 ガラス保持金具(室内)の取付け

- ① ① ガラス保持金具(室内)の穴部を段付ねじ頭に入ってください。
 - ② ② ガラス保持金具(室内)の穴部がすべて段付ねじ頭に入っていることを確認してから、ガラス保持金具(室内)を下げてください。
- ※ ガラス保持金具(室内)を下げられない場合は、段付ねじを半回転ゆるめてください。

※ ガラス保持金具(室内)が取付けにくい場合は、ガラスを中央の位置から5mm程度片側に寄せ、十分なクリアランスを確保して取付けしてください。取付け後は、ガラスを中央の位置に戻してください。

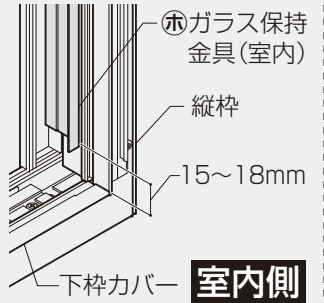


■ C部詳細図



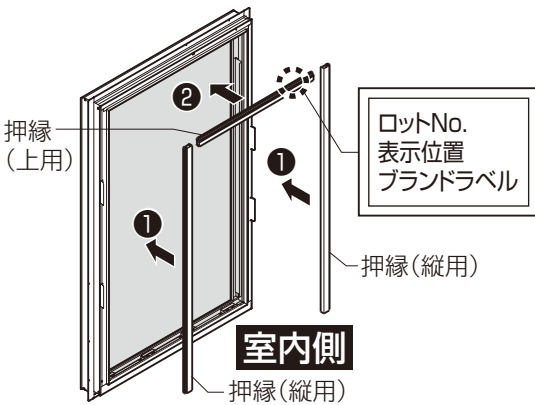
▲ 注意

- 枠の垂れ下がり・ガラス落下のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・ ガラス保持金具(室内)の取付けの際に段付ねじをゆるめる場合は、半回転以上ゆるめないでください。
- ・ ガラス保持金具(室内)取付け後、ガラス保持金具(室内)下端と下枠カバー下面の距離が図の寸法になっていること、ガラス保持金具(室内)が室内側へ外れないことを確認してください。



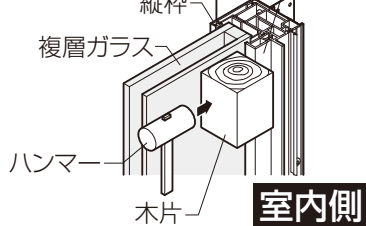
5 押縁の取付け

- 縦→上の順に押縁を入れます。
- ※ 押縁(縦用)は下を基準として、下→上の順に取付けるようにしてください。
- ※ 押縁に木片を当て、ハンマーでたたき込んでください。



● お願い

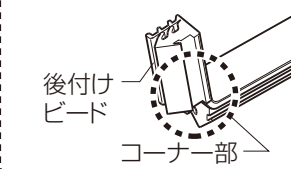
- ※ 組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れることがあります。



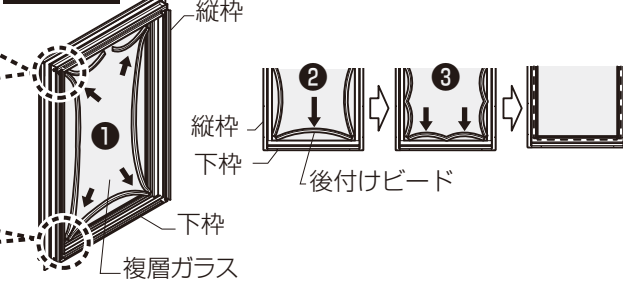
6 後付けビードの取付け

- 図の①のように余長を持たせて、四方に後付けビードをまわします。余長なく押し込むとビードが収縮し、外れや雨漏りの原因となります。[後付けビードの余長の目安1000mmあたり30mm]
- 図の②③のように数箇所、均一にたわむように仮止めしてから押し込みます。

※ 後付けビードのコーナ部には、カッターで切れ目を入れてください。

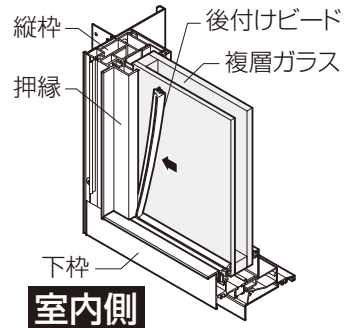


■ 内観図

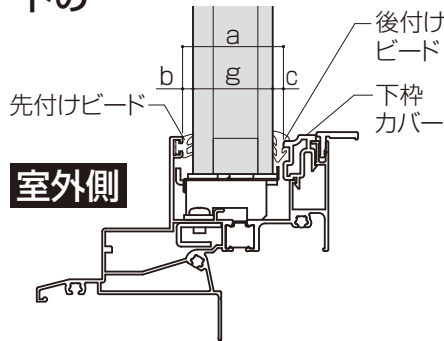


【ビードの押し込みがきつい場合】

後付けビードを100mm程度に切断して上・縦の3方に入れ、押縁とガラスのクリアランスを確保してから押し込んでください。



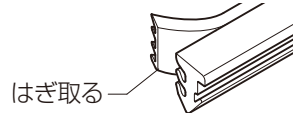
■ ガラスビードの使用区分



▲ 注意

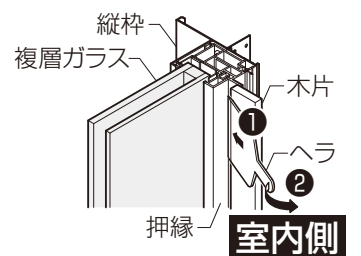
- 後付けビードは必ず指定のものを使用してください。指定の後付けビードを使用しない場合、所定の防火性能を満たしません。

■ 後付けビードのハクリ方法



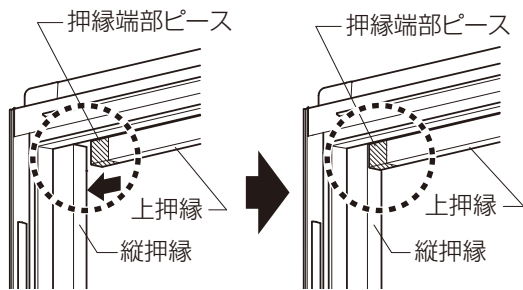
■ ガラスの外し方

- ※ 取付けと逆の手順で取外してください。
- ※ ガラスを外す場合は、後付けビードを外した後、押縁を上→縦の順に外します。その際、押縁と上・縦枠の間に右図のようにヘラを突き当たるまで差込み、てこの原理を利用して押縁を外してください。押縁(縦用)を外す際はヘラと縦枠の間に木片を挟み、てこの原理で外すようにしてください。(樹脂に傷やへこみが付かないようにしてください。)



■ 押縁端部ピースの調整

- W > 780 の場合、上押縁の両端に「押縁端部ピース」がついています。上押縁と縦押縁との間にすき間が発生する場合は端部ピースを両側に動かすことによりすき間を隠すことができます。



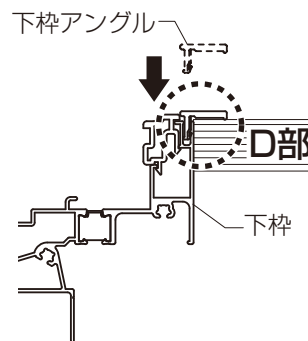
■ 下枠アングルの取付け

■ 下枠アングルの取付け(テラスのみ)

- ※ 下枠アングルは、内装材施工後に取付けてください。
- ※ 下枠アングルの床の高さ違いの対応範囲は、上に3mm、下に1mmです。それ以上は対応できません。なお、上方向に調整時は、縦枠アングルの下部が内装材に干渉しますので、必要に応じて干渉部を切り欠いてください。また、高さ調整機能はあくまで補助的な機能ですので、床の高さは確実に出してください。

● 下枠アングルがねじレスの場合

- ① 下枠アングル取付け部を必ず清掃し、汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などを取ってください。取付け部に汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。
- ② リケイ紙をはがし、下枠アングル端部を縦枠アングルに合わせ、下枠溝部にはめ込みます。※ 張直しをしないでください。接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。
- ③ 内装材に強く押付けて圧着します。



■ D部詳細図

